

(3) 授業の質的改善のプロセス

2 (2) で示した方法に沿って、実際に授業の質的改善に取り組んだプロセスを紹介します。授業実践により導き出した課題（**ア～チ**）に対して、その後の同領域の単元で改善策（**A①～C⑪**）を講じていきました。**ア～チ**については、前項表 1「生徒の姿チェックシート」、**A①～C⑪**については、表 2「授業改善の手立てシート」をご参照ください。

ア A校の授業改善のプロセス

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》文章を読んだことを基に、自分の考えを書いたり話したりすることができていなかった。 **イキ**

《教師の課題》モデル（学習の手引き）を示していなかった。

手立て（9月）

学習の手引きを配付し、書き進め方のモデルや語彙についてのモデルを明示した。

[A③]

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》グループ活動で、自分が困っていることや疑問について、質問できていなかった。 **コサ**

《教師の課題》形式的なグループ活動を設定するにとどまっていた。

手立て（9月）

話を聞きたいと思う友達や、解決の方法を共有したいと思う友達と、自由に話をする場を設定した。

[B⑦]

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》グループ活動の後で、個人の考えが深まっていなかった。 **サタ**

《教師の課題》生徒が考えたこと、書いたものを共有させる場を設定していなかった。

手立て（11月）

個人の考えを全体で発表する場を設定し、自分と他者との考えを比較させることで新たな考えを発見させたり、自分の考えを深めたりさせた。

[B⑪ C⑥]

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》何ができたら力が付いたと言えるかが理解できていなかった。 **イ**

《教師の課題》生徒が言語活動を行う際の評価規準を明確に示していなかった。

手立て（11月…本時）

言語活動に入る前に自己評価表を配付し、身に付けさせたい資質・能力を示した。

[A②]

イ B校の授業改善のプロセス

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》実感を伴って読むことができていなかった。

アイ

《教師の課題》教材を通して何を学ぶのか、最終的に何ができると良いのかを明らかにしていない。

手立て（7月）

その時間で身に付けさせたい力と将来役立つ場面を、単元開きで明らかにした。

[A②]

○7月の実践の振り返り

《生徒の実態》自ら言語活動に取り組もうとする意欲を持てていなかった。

キケ

《教師の課題》言語活動に入るまでが発問中心であり、主体的に考えさせる場面がなかった

手立て（10月）

課題に対する自分の考えをまとめる時間を設定し、記入するワークシートを準備した。

[A⑥ B⑥]

○9月の実践の振り返り

《生徒の実態》相互評価が感想に終始し、評価を基にした考えの再構築ができなかった。

タチ

《教師の課題》相互評価をした後に、他者からの意見を反映する場を設定していなかった。

手立て（10月）

交流の前に評価規準を明らかにし、他者の評価を受けた後に推敲の時間を設定した。

[B⑪ C⑨]

○10月の実践の振り返り

《生徒の実態》完成した作品を見直して、よりよいものにしようとする姿が見られなかった。

コサ

《教師の課題》完成した作品を推敲させる時間を取ることができなかった。

手立て（11月…本時）

書いた作品をグループで見せ合い、条件を満たしているかどうかを考えさせる時間を設定した。

[B⑦]

ウ C校の授業改善のプロセス

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》小説の主題を読み取って、自分の言葉で言い換えることができなかった。 **イ**

《教師の課題》身に付けさせたい力や言語活動を単元開きで提示することができなかった。

手立て（7月）

その時間で身に付けさせたい力と将来役立つ場面を、単元開きで明らかにした。

[A②]

○6月の実践の振り返り

《生徒の実態》本文を引用して説得力は増したが、自分の考えの深まりは見られなかった。 **イウ**

《教師の課題》教材と生徒をつなぐ言語活動を設定することができなかった。

手立て（6月）

モデルと問いをワークシートで提示することで、言語活動を具体的に示した。

[A③]

○9月の実践の振り返り

《生徒の実態》説明文の段落の役割を、「主張」「反論」などの語句を使って説明することができなかった。 **キ**

《教師の課題》語句に注目して丁寧に読み取る場を設定していなかった。

手立て（9月）

注目すべき語句を毎時間意識して使わせた。

[C④]

○10月の実践の振り返り

《生徒の実態》複数の文章を読み比べた際に、筆者の主張の違いを読み取ることができなかった。 **カケサ**

《教師の課題》それぞれの文章の内容を把握するための十分な時間を確保することができなかった。

手立て（10月…本時）

ジグソー法を用いて複数の文章に触れさせ、主張の違いに気付かせた。[A⑥ B⑤⑦⑧ C⑥]